くがはら

発　行：わがまち大田久が原地区推進秀員会

編　集：地域情報紙「くがはら」編集委員会

事務局：大田区久が原特別出張所
〒146大田区久が原2－19－3
（3752）4271

地しんがきたら　火のしまつ

松仙小四年 小室ゆき さんの入選作です。

久が原地区管内	人口	男	12,206人
		女	12,104人
		計	24,310人
	世帯		10,094世帯

3月1日現在（住民基本台帳による）

"カンコロの日" ご存じですか

久が原西自治会リサイクル活動

問合先
大田区都市環境部
リサイクル推進担当課
電話三七七三－五六五六

街の道路や公園・空地などに、空き缶やビン類の投げ捨てが見られます。住む街の環境をよくするためにも、放っておくわけにはまいりません。

久が原西自治会では、かねてより、街の美化とリサイクル運動を進めてきました。

この運動の一環として、空き缶の回収を町内居住の皆様方のご協力を得て、毎月一回第4水曜日に、久が原公園リサイクル倉庫前で行っております。

この回収日を「カンコロの日」と呼び、自治会担当委員が、町内12か所の集積拠点を回って回収した空き缶の分別と缶つぶし作業を行っております。

ちなみに、空き缶といいましても、スプレー缶、油缶、総菜缶、アルミ缶など様々です。これらの缶を分別しないことには正常の回収となりません。

常時四名の委員が交替で、お手伝いの数名の方と共に作業を行っています。

回収開始以来の実績は、皆様のご協力により、次のとおりです。

12月23日　二一〇kg
1月27日　二二二kg
2月24日　二三〇kg
3月24日　二五二kg

次に、回収作業の委員から〝空き缶回収時のお願い〟が寄せられていますので、お知らせします。

①回収品目　空き缶（アルミ　スチール缶）
②回収の日　毎月第4水曜日　午前9～10時
③回収場所　町内12か所
④選別し混入しないこと。
決められた缶以外の缶やビン類が混入すると回収できなくなります。

この作業は、街の美化、環境の整備と併せ、更にリサイクルのはずみを呼ぶものと確信しております。今後とも、行政の歩みと共に地域推進の一環として、力を注いでまいりたいと存じます。

（久が原西自治会 川又　浩）

健康に関する講演会

エイズについて

―二月十九日（金）久が原特別出張所にて―

本当のことを言うと、昼食のあとで、眠くなってしまわないかしらと思いながら参加した講演会でした。

講師は糀谷保健所長の鈴木先生で、エイズについてのお話でした。鈴木先生は、はっらつとしていらっしゃる、とてもステキな女性でした。

お話のされ方が楽しく、内容も具体的で、とてもわかりやすいものでした。「なるほどネ」、「あら、そうなんだ」なんて思ったり笑ったりしているあいだに、気がついたら一時間四十分が過ぎていました。

エイズはただ怖がるのではなく、正しい知識をもって行動すれば、決して怖くはないこと、間違った認識がエイズ感染者を差別してしまうことを、改めて考えさせられました。

もっと聞いていたいなと思う講演会に、そうそう出会えることはないので、なんだかとても得した気持ちになりました。

講演後、「早春賦」など、国澤久江さんによる、ソプラノの独唱も聞かせていただき、さわやかな気持ちで帰ってきました。

めったにないチャンスの講演会、もっとたくさんの人たちに聞いてもらえたらと、ちょっぴり残念に思っています。

楽しい時間を、ありがとうございました。

（松仙小PTA　天野裕子）

受賞おめでとうございます

（敬称略）

▼平成四年度区政功労者
○保護司
三木　清治（西自治会）
○自治会・町会
田島　良助（西自治会）
▼春の火災予防運動受賞者
○一年間無火災町会・自治会
久が原西自治会
（三木　兼吉　会長）
○消防行政協力功労
大内　志津子
（防火婦人会　久が原支部長）

地域文化懇談会

―懇談会に出席して―

青少年対策久が原地区委員会主催の懇談会が二月二十二日（月）三十名の方が出席して開催されました。

◎私達の池上本門寺

二月二十二日、妻に誘われて久が原地区地域文化懇談会に出席し、久し振りに本門寺にお参りできました。

当日の案内役、本門寺の市川執事の「日蓮上人」と「長栄山本門寺」の由緒あるお話は、灯台下暗しの住人の見聞を広めて下さり、私達転勤Uターン族や新しく転入されて来た方の郷土愛を育む良い機会となりました。

日蓮上人が池上で入滅されて以来、本門寺は、加藤清正や徳川秀忠をはじめとする徳川家に大切にされてきた寺です。

また、江戸城を無血開城へ導いた勝海舟と西郷隆盛の会談のところとなり、時代の節目で日本の行く道へ一灯を照らしてきたといえます。

国際化時代を迎えた今日、日蓮上人は、この地を豊かな緑の中に伝統と先端が調和する住まいの環境にするよう、老若男女に説いているような感じがしました。

（久が原三丁目在住　会田　瞭三）

◎本門寺見学会に参加して

二月二十二日、心配した夜来の雨も上がり、本堂裏手の大堂玄関に午前十時に集合したのは、三木会長さん、石垣文化部長さん他、総勢三十名。

まず普段入ったことのない本堂の内陣で、日蓮上人の七回忌に作られたという、祖師座像にお参りしました。

その後、日蓮上人が池上の地でなくなられた頃の史実を中心にお話があり、大堂から道を越して、北側の本殿へと見学させていただきました。

全部の建物が廊下続きということを初めて知り、びっくりしました。

昼食は朗峰会館で、おいしい精進料理をいただき、一品一品、これは何、何と料理をたしかめました。話も弾み楽しい一時でした。

食後、小堀遠州の作といわれる松濤園を拝見し、池を中心に咲く紅梅白梅の香りを十分に満喫しました。

力道山の墓をはじめ、五重の塔・山門などを案内していただき、午後二時頃解散。

近くにいながら、よく知らなかった本門寺の様子を知ることができ、大変有意義な一日を過ごすことができました。

（久が原六丁目在住　佐々木　尚）

文化財保護の防災訓練

1／27 久が原東部八幡神社で

一月二十七日、東調布消防署の要請をうけ、消防署からポンプ車も出動して、地元の消防団第五分団、久が原東市民消火隊ならびに久が原東ミニポンプ隊が参加して、境内で放水訓練を実施しました。

久が原東部八幡神社の社殿は、文久二年(一八六二)に建築された入母屋造り、厚い茅葺(火災予防のため、銅板で覆っている)の木造欅造りで区内でも数少ない建造物です。昭和四十九年二月に大田区の文化財に指定されています。

(宮田　静雄)

囲碁の会へのお誘い

久が原南自治会会館で、同好の方々が集まって、毎週日曜日に囲碁の会が開かれています。この会は、会員の皆様の自主的なご要望から生まれた親睦の会です。「ご希望の方は是非ご参加ください」と呼びかけています。

○概要は次のとおりです。

・登録会員は三十名。

・毎週日曜日の午後一時から五時まで。

・会場は南自治会会館の一階和室です。

・連絡先は久が原クラブ・堀　咲子　まで(電話三七五三―五一二八)

初心者でも有段者でも、それぞれに楽しめるように、持ち点制で対局しています。

セルフサービスになりますが、お茶やコーヒーも用意しています。

会費は参加された月だけ、月額千円です。

どうぞ、気楽にご参加ください。

(伊藤　英子)

第42回 大田区子どもガーデンパーティー ぜひご来場を！

日時　四月二十五日(日)午前十時～午後三時

会場　洗足池公園・桜山

「子どもたちに、身近かな自然の中でより多くの友達とふれ合い、日ごろできない遊びや、手作りに挑戦させる」そんな目的でガーデンパーティは開かれています。青少年対策地区委員会・小中学校PTA・地域有志の諸団体の協力により、毎年四月の最終日曜日開催されます。

洗足池会場では、桜山の地形を生かしてのアスレチックが、子どもたちの人気を呼び、毎年長い行列ができるほどです。また、PTAのお母さん方が教えてくださる、手作りコーナーの作品は、楽しい夢のあるものばかりです。

その他野外ゲームやスポーツテストなど、盛り沢山です。

みなさん、ぜひお出かけください。

(新井　信子)

楽しかったボウリング大会

三月十八日青少年対策久が原地区委員会主催のボウリング大会が、小学生からお年寄りまで四十八人もの参加者を得て実施されました。

ボウリング場も今のハイテク時代を反映してか、点数表はすべてコンピューターで処理され、ただ感心するばかり。

大会長のあいさつにより始まったゲームは、進行するほどに参加者の一喜一憂する歓声につつまれ、非常に盛り上がりました。

親子で参加された久が原四丁目の山口文子さんが、日頃の練習成果を発揮され、優秀な成績で優勝されました。二位、三位は久が原四丁目の斉藤久美子さん、精一さん御夫婦が仲よく入賞され、それぞれ賞品を手にされました。

ゲーム終了後にはお楽しみ抽せん会が催され、ゲーム以上に歓声が上がり、中には家族全員、夫婦揃って賞品を手にされた方もいました。

盛大な内に大会が終了し、春の一日家族ムードで楽しく過ごす事ができました。

来年も大会が開催される予定です。地域の皆様のご参加をお待ちしております。

(道上　ミヨ子)

思い出

昨年の夏、テレビで「蛍」の番組放映を見て、七十年前の大田区を思い出しました。

大正の初期には、大田区でも蛍が飛び交っておりました。

私は、現在の多摩川大橋の西側、矢口村今泉(現在の矢口二丁目)に生まれました。

多摩川には、帆に一杯の風を受けた帆かけ舟が上り下りし、水ぬるむ四月になると、地引き網で白魚が捕れました。

私たち子供は、網の囲りで遊んでいて、漁師さんにしかられたものでした。

現在の第二京浜国道の両側には、菜の花、れんげ草、桃の花が咲き乱れ、七月頃には青い葉陰に枝もたわわに桃の実が熟し、本当にのどかな風景が見られました。

また、村内には多摩川に注ぐ小川が流れており、夏八月ともなると、日暮れとともに川の両岸の草むらには、蛍がいっぱい光り、夜空を飛びかう様は見事なものでした。

二代目区長となられた代田朝義様がお若い頃は、お醤油の醸造元をしておられましたので、父が六郷まで一斗樽を持ってお醤油やお味噌を買いに行きました。

子供の遊びも、男の子は「凧揚げ」「ビー玉」「こま回し」、女の子は、「石けり」「縄とび」「お手玉」で、お寺や神社の境内で遊んでおりました。

電車に乗るため、矢口から蒲田まで歩き、久が原では大森まで歩いたそうです。

私が六年生の時、目蒲線、池上線が開通し駅が近くなって喜んだ思い出があります。

昔の大田区の風景を目にした人も残り少なくなって、老いて行く身にお恥ずかしいお話しですが、幼き頃の大田区の一端を綴らせていただきました。

(久が原四丁目在住　山野　シゲ)

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

委員会からのお知らせ

牛乳パックでリサイクル

大田区では、牛乳パックの回収の輪を広げるため、区の施設を中心に、回収箱を設置しました。

久が原管内では、特別出張所と雪谷文化センターに設置しました。

終日、利用できます。

◎**洗って、開いて、乾かして**

牛乳パックは、洗ってないもの、カビの生えたもの、開いていないものは回収できません。

回収された牛乳パックは、ティッシュペーパーなどになって、再びわたしたちの生活の中に戻ってきます。

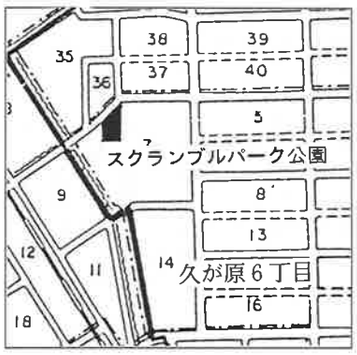
お持ちいただく牛乳パックは何枚でも結構です。回収にご協力ください。

久が原に二つの公園が開園

三月二十五日、久が原地区に新しい公園ができました。地域の皆様、ご利用ください。

○久が原さくら公園　久が原5－7

○スクランブルパーク公園　久が原6－7



編集後記

○　うららかな春の日ざしが、自然を楽しむ心の豊かさを育んでくれます。

○　情報紙「くがはら」も地域のご期待に応える紙面づくりに多くの声をいかして参りました。

○　今年より「思い出」などのシリーズを企画し、地域の皆様にお届けします。

皆様からのご寄稿をお待ち申しあげております。

(かわまた)